

指定管理施設(ふれあいセンター姫)事業評価表  
南姫児童センター 事業評価表

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		平成28年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等	
					H28年度	実施回数	乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		
乳幼児と保護者を対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳 ベビークラブ	毎月 1, 2回	10	13	16	245	0	0	218	463	・親子ふれあい遊びや工作遊びを中心とした活動を実施したり、保健センターから保健師を招き子育てに関する悩みなど質問できる事業を実施したりした。その結果、27年度は11組であった参加者が28年度は18組に増えて多くの親子に参加してもらうことが出来た。	
		② 乳幼児クラブ 1歳 ぴよぴよクラブ	毎月 1, 2回	10			16	70	0	0	76	146	・27年度アンケート結果より運動遊びを増やしてほしいとの要望があり、運動遊びや散歩といった身体を動かす活動を中心に実施した。また季節行事でプールや運動会、クリスマス会なども実施した。初めはクラブに参加するのを嫌がっていた子も他の子がたのしんでいる姿を見て、身体を動かす活動に興味を示し参加できるようになっていった子もいた。
		③ 乳幼児クラブ 2歳 キンダークラブ ちびっこクラブ	毎月 1, 2回	各10			32	313	9	0	301	623	・運動遊びを中心とした「キンダークラブ」では幼児の成長に合わせた運動遊びを実施した。トランポリンやマットを使用した遊びは家庭では行いづらいこともあり保護者から好評であった。ふれあい遊びを中心とした「ちびっこクラブ」では季節に沿った工作遊びや親子でふれあい遊びを中心に実施した。
							64	628	9	0	595	1232	
	2	④ 乳幼児 自主事業 幼児おはなしなあに 幼児トランポリン 英語であそぼう 音楽であそぼう こどもランド(季節行事など)	随時		13	65	448	2	0	446	896	・自由参加事業としてお誕生日会、さつま芋の苗植え、夏季の幼児プール、幼児トランポリンなど来館者のニーズに合わせて様々な内容の事業を実施した。特に幼児トランポリンは毎月1回程度の実施であったが欠かさずに参加していただける親子もあり、クラブ以外での来館者も増え母親同士の交流も深まった。	
		小 計				65	448	2	0	446	896		

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価 H28年度	実施回数	平成28年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
							乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
児童を対象とした事業	1	① 一輪車クラブ	月1, 2回	各6	13	17	0	193	0	25	218	・児童の自主性や創造性の成長を促すことを目的とし4クラブを実施した。特に今年は制作やクッキングを中心とした「ハンドメイドクラブ」の参加が多く女子児童に人気のクラブとなった。また「一輪車クラブ」には多くの1年生が加入した。1年生が加入することで5、6年生が自分達から積極的に指導をしアドバイスするなど心の成長に繋がった。
		子どもスタッフクラブ				17	0	84	0	26	110	
		ハンドメイドクラブ	2ヶ月に1回程度			8	0	113	0	0	113	
		チャレンジクラブ				8	1	69	0	1	71	
	② ボランティア活動	月1回 随時	各6	13	32	1	173	10	2	186	・事業名「チョボラ」の活動の中で施設内の砂場や幼児室の清掃、幼児ふれあい体験、東日本大震災被災地交流等を実施。被災地交流では28年度は四つ編み飾りを贈った。児童達は積極的に参加し難くても一生懸命製作をし交流の内容をセンター内に掲示するなどPRも行き、思いやりの心の成長を促す事業となった。	
	チョボラ 敬老の日のプレゼント作り 被災地支援											
小 計						82	2	632	10	54	698	
2	③ 児童 自主事業	新一年生生まれ・小学生トランポリン 小学生おはなしなあに・作っちゃおう みんなであそぼう・チャレンジ番付 ドッジボールをしよう 一輪車クラブ交流会 子どもスタッフまつり	随時	各6	13	100	83	946	20	184	1233	・児童対象に運動遊びや工作遊びの事業を実施した。特に「小学生トランポリン」は27年度から月に開催日が1回程度と少なく、習い事等で実施日に来館できない児童も多かったため、28年度は可能な月は2回実施するなど児童のニーズに沿った自主事業となるよう工夫した。
小 計												

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価	実施回数	平成28年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等	
					H28年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり ふれあいセンター姫夏まつり ふれあいセンター姫まつり	年2回	1	13	2	75	98	3	231	407	・8月にふれあいセンター姫夏まつり、3月にふれあいセンター姫まつりを児童センターが中心となり計画し実施した。児童センターのPRを図ると共に、子どもはもちろん地域内外の来館者にも楽しんでいただく事が出来た。また施設全体で取り組むことで職員間の連携強化にも繋がった。	
		② 移動児童センター 30区どんど焼き 南姫公民館まつり 移動児童センター（公民館）2回	随時			4	50	163	69	105	387	・地域の子ども会「ひまわり会」と連携をとり移動児童センターの実施や他団体主催の行事に移動児童センターとして遊びのブースを展開した。地域の児童センターとして周知していただくことができ、次年度実施に繋がる結果となった。29年度は更に実施回数や場所が増えるように工夫する。	
	小 計						6	125	261	72	336	794	
	2	③ 地域・多世代 自主事業 ふれあい卓球大会・30区夏祭り たのしい七夕会・デイサービス訪問 ふれあい運動会・節分会 ハロウィンパーティー 30区スポーツミニフェスタ サマーわんぱく祭り など	随時		13	15	155	321	17	490	983	・複合館の長所を活かし毎月2回協議を図り、同施設内老人センター及びデイサービスセンター包括支援センターとも共催及び連携事業を多く実施した。また地域のおまつり等の事業にも積極的に参加した。地域の子どもを知ってもらい、地域全体での見守りに繋がることが期待できる。	
	小 計						15	155	321	17	490	983	
中高生事業	1	① 中高生ボランティア 乳幼児親子行事（幼児プールなど） 小学生行事（紙芝居の読み聞かせなど） 地域行事（夏祭りの手伝いなど）	長期夏季休業 随時	3	13	11	0	0	39	0	39	・南姫中学校の長期夏季休業時に中学校ボランティア「きらめき隊」と連携を図り、生徒たちへボランティア活動の場の提供をした。次世代の親の支援として幼児と触れ合う機会を多く設けた。生徒が積極的に参加できるよう職員が補助をして楽しい活動となるよう配慮した。幼児の保護者に話を聞くことができ、子育ての大変さや喜びも学んでもらえた。	
	小 計						11	0	0	39	0	39	
	2	② 中高生自主事業 スポーツ指導（サッカー、バスケ、バドミントン） 中学生とあそぼう	随時		13	2	6	4	7	6	23	・来館した生徒と遊ぶ「中学生とあそぼう」を長期夏季休業時に実施しドッジボールやバスケなどで、地域の児童と生徒と一緒に遊ぶ機会を設けた。中高生は思いやりを持って児童と遊べるようになり、児童にとっても中高生と遊ぶことで憧れの存在を見つかることができ、よい刺激になっていた。	
小 計						2	6	4	7	6	23		

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価	実施回数	平成28年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H28年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
子育てネットワークづくりの推進	1	① 相談事業 子育て相談日	月1回	12	13	12	32	3	0	29	64	・市の指定により子育てに関する悩みや不安を持つ保護者に向けて月に1度「子育て相談日」を設けた。相談日を頼りに来館し職員と話すことで気持ちが楽になりスッキリしてもらえるようになった。何度も相談しに来てくれる方もみえて、相談日を設けたことで相談しやすい環境が整ったと実感することができた。
		② 講習・講演・他連携 わんぱくまつり・夏の科学工作 募金配分金事業 「親子で楽しむふれ合いうた遊び」 「Kajiiとあそぼう」 お巡りさんに聞いてみよう 姫保育園との交流	随時	2		6	168	76	2	196	442	・社協が運営する児童館・センター合同で赤い羽根共同募金配分金事業、歳末募金配分金事業の実施。また多治見警察署生活安全課や核融合研究所、多治見ボーイスカウト等と連携を図り子育てネットワークの強化を目的とした事業を実施した。
		③ 母親クラブ 活動支援	月1、2回			14	14	13	0	87	114	・ふれあいセンター姫まつり実施時や地域のおまつりに児童センターが参加する際に、遊びのブースの補助等を行った。児童センターでは、活動支援と乳幼児クラブの中で母親クラブのPRを行い楽しさを伝えた。母親クラブの方と地域の子どもの現状や事業に関する話をすることで連携が強化された1年となった。
	小 計					32	214	92	2	312	620	
	2	④ 子育て 自主事業 親育ちプレママサロン	随時		14	3	4	0	0	49	53	・親育ち4・3・6・3モデル地区として市の主導で事業を行っていたが29年度からは姫地区独自で行うため、その事業としてプレママサロンを行った。「元気な赤ちゃんを産むために」というテーマのもと、妊娠中に必要な栄養を学んだり、保健師や歯科衛生士の講話を聞いたりマタニティーヨガを行ったりした。児童館を知らなかった方に知ってもらう良い機会にもなり、事業がない日でも来館する方が増えた。
小 計					3	4	0	0	49	53		

※事業区分「1」…仕様書事業、「2」…自主事業(企画事業)